

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

液化機2号機は順調に稼働していますが、能力不足のため利用者の皆様には何かとご不便をおかけしています。今後ご理解とご協力をお願いします。また、最近はヘリウム容器の持出期間が短くなり、容器の利用率が上がっているようです。この調子で、不要な容器、使用済み容器は早めに返却するようお願いいたします。

高圧ガスボンベと寒剤利用時の注意事項



ボンベ：高圧ガスボンベなど 液化室：低温液化室 寒剤：液体窒素、液体ヘリウムなど

[全 般]

- ◎液化室開室時間は、原則9:00～17:00（12:00～13:00除く）である
- ◎寒剤利用講習、高圧ガスボンベ利用講習を必ず受講すること（詳細は液化室まで）
- ◎ボンベや寒剤等を使用する研究室のメンバーは可能な限り全員が講習を受講すること（研究室責任者、使用者、担当者は必須）

[ボンベ関係]

- ◎柏キャンパス内で使用するボンベは、原則として液化室を通して購入・返却等すること
- ◎ボンベデータの更新をすること（使用場所の登録、修正、臨時購入データなど）
- ◎ボンベの管理には、柏キャンパス高圧ガスボンベ管理システムを使用すること
<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/cylinder/>

[寒 剤]

- ◎液体ヘリウム容器を返却する際は、内容積の10%以上の液体ヘリウムを残すこと
- ◎液体ヘリウム容器の持出・返却は、可能な限り午前中に行うこと
- ◎ヘリウムは必ず回収すること
- ◎ヘリウムの回収系のチェックを定期的に行い、回収率向上に努めること
- ◎ヘリウムを使用する装置は、特に漏れに注意すること
- ※ヘリウム回収系に多量の不純物が混入した場合、液化機が故障する可能性がある
- ◎在庫量調査、流量計の確認などを指定日に必ず行うこと
- ◎注文した液体ヘリウムを供給日に取り忘れた場合は、原則としてキャンセル扱いとなる

[法令遵守] (高圧ガス保安法)

- ◎自加圧型の液体窒素容器を定期的に検査をすること
http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/N2_tank/n2_tank.html
- ◎製造行為にあたる実験装置などを作る際には、必ず事前に液化室に相談すること（届出等が必要かどうか不明な場合も）

[安 全]

- ◎ボンベ、寒剤等利用の際は、細心の注意を払って取り扱うこと
- ◎使い方等が不明な場合は、分かっている人に聞くこと
- ◎実験装置は定期的に点検しましょう
- ◎液体窒素の汲み出し等は、十分注意して行うこと
- ◎容器の運搬等は、可能な限り2人以上で行うこと
- ◎換気を十分に行い、酸素欠乏や中毒などに十分注意すること



問い合わせ [E-mail: ekika@issp.u-tokyo.ac.jp 内線:63515]